

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔事務・事業の概要〕		グループ名	学校教育グループ	事業番号																																										
款	10	教育費	1 目的及び効果 大学、短大、高等専門学校、専門学校の専門課程等これらに相当する学校に在学する、学習意欲のある者に学資金の一部を貸与し、経済的負担を軽減することを目的とします。	2 事業主体 厚真町教育委員会	☆ 決算額の推移 決算額の状況		101																																										
項	1	教育総務費			年度 H19 H20 H21 H22 H23		事業 業務 名 名																																										
目	1	教育委員会費			決算額 24,500 24,200 30,000 31,560																																												
節		金額(千円)			対前年比 ▲ -300 5,800 1,560		☆ 指標で表せない効果等 進学が増加の傾向にあり、特に専門学校の進学が増えて います。当初の予算では不足気味になってきているので、近 年では補正予算で希望者全員に貸付が出来るよう町部局にお 願いしているところです。																																										
21貸付金		31,920			☆ 事業評価(自己評価) ☆ 点数による評価																																												
					<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>要改善</th> <th>要検討</th> <th>妥当</th> <th>良好</th> <th>的確</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備等</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>運営面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>財政面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>目的達成度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>総体</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>				要改善	要検討	妥当	良好	的確	準備等	1	2	③	4	5	運営面	1	2	③	4	5	事業内容	1	2	③	4	5	財政面	1	2	③	4	5	目的達成度	1	2	③	4	5	総体	1	2	③	4	5
	要改善	要検討			妥当	良好		的確																																									
準備等	1	2			③	4		5																																									
運営面	1	2			③	4		5																																									
事業内容	1	2			③	4	5																																										
財政面	1	2	③	4	5																																												
目的達成度	1	2	③	4	5																																												
総体	1	2	③	4	5																																												
計		31,920	①貸付限度額 月6万以内(1万円単位)平成21年度から ②新規貸付者 大学院1名、大学5名、短大3名、専門学校9名 高専1名 計19名 (貸付月額) 30,000円3名、50,000円7名 60,000円9名 貸付金額 11,760千円																																														
補助金等の有無		有・無	③継続貸付者 大学23名、短大1名、専門学校6名 計30名 貸付金額20,160千円																																														
〔有の場合〕			4 その他事項 ①貸付所得制限(財)日本学生支援機構貸付基準所得の2倍まで ②特別控除 母子・父子世帯、 就学者のいる世帯(小中高生、大学、専門学校生) ③償還期間 貸付を受けた期間の3倍の期間																																														
名称			点検・評価にあたって特記する事項等		育英資金貸付事業																																												
金額			大学・専門学校等の進学が増加傾向にある中、就学費用等、家庭の経済的負担が大きくなっているために利用者が多くなっています。また、平成21年度に貸付限度額を6万円に引き上げていますが利用希望者の半数が限度額になっています。																																														
〔事務・事業の写真等〕						〔事業方向性〕																																											
						継続																																											
					〔予算方向性〕																																												
					継続																																												
					事業開始年度																																												
					昭和33年																																												
					事業終了(予定)年度																																												

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	
準備等	1	2	3	④	5	近年の経済情勢からみて、進学する者にとっては経済的負担を大きく軽減する有意義な制度であり、自己評価以上の効果を上げているものと判断します。今後、貸付限度額の引上げを検討していただきたい。
運営面	1	2	3	④	5	
事業内容	1	2	3	④	5	
財政面	1	2	3	④	5	
目的達成度	1	2	3	④	5	
総体	1	2	3	④	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔 事務・事業の概要 〕		グループ名	学校教育グループ	事業番号	
款	10	教育費	1 目的及び効果 本事業は、住環境を整備することにより快適な生活を図り、教職員の本町への定住を促進します。	2 事業主体 厚真町教育委員会	☆ 決算額の推移 決算額の状況		102	
項	1	教育総務費			年度 H19 H20 H21 H22 H23		1 入居の必要があるため、必要な修繕・保守点検等を要します。 2 住みやすい住宅の提供します。	事業 業務 名 名
目	1	教育委員会費			決算額 7,240 9,421 6,205 2,142			
		金額（千円）			対前年比 2,181 -3,216 -4,063		教員住宅維持管理事業	
11	需用費	2,183	3 事業内容及び対象者等 対象者 町立小中学校に勤務する教職員及び一般町民 (1) 需用費 住宅修繕料 (2) 役務費 火災保険料 (3) 委託料 消防設備点検 (4) 備品購入費 水道メーター器購入	☆ 点数による評価	準備等 1 2 ③ 4 5 運営面 1 2 ③ 4 5 事業内容 1 2 ③ 4 5 財政面 1 2 ③ 4 5 目的達成度 1 2 ③ 4 5 総体 1 2 ③ 4 5	〔事業方向性〕 継続 〔予算方向性〕 継続		
12	役務費	192					4 その他事項 ・保有教員住宅数 46棟 ・教職員入居数 26棟（入居率56.5%） ・一般町民入居数 20棟 ・空き家状況 なし ・大規模な改修事業は、平成22年度から教員住宅環境改善事業へ移行。 ・住宅を求めている一般町民に対しても賃貸を行い、一定の家賃収入を得ています。ただし、教職員の居住が優先するため、賃貸期間の制限を設けています。	☆ コメントによる評価 指標で表せない効果等と同様
13	委託料	16			計 2,545	点検・評価にあたって特記する事項等 教職員が居住している住宅を優先的及び計画的に整備を行っていますが、一般町民が入居している住宅には古いものでは昭和45年に建築されたものもあり、教職員住宅として考えた場合の老朽化住宅の計画的な維持管理の必要性を検討しなくてはなりません。		
18	備品購入費	154					補助金等の有無 有・ 無 〔有の場合〕	
名称			〔 事務・事業の写真等 〕					
金額								

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	
準備等	1	2	③	4	5	教職員が安心して働けるよう住環境を適正に維持管理をしていることに評価します。教員の住まない相当古い教員住宅は費用対効果を考えて取り壊しを検討しても良いのではないかと。
運営面	1	2	③	4	5	
事業内容	1	2	③	4	5	
財政面	1	2	③	4	5	
目的達成度	1	2	③	4	5	
総体	1	2	③	4	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔事務・事業の概要〕		グループ名	学校教育グループ	事業番号																																											
款	10	教育費	1 目的及び効果 本事業により、水洗化・ユニットバス化を図るとともに屋根、外壁等の塗装等の整備を行い、教職員住宅の住環境の向上を図ります。 2 事業主体 厚真町教育委員会 3 事業内容及び対象者等 本郷地区教職員住宅ユニットバス整備 5戸 本郷地区教職員住宅外壁屋根塗装 1戸 上厚真地区ユニットバス整備、屋根外壁塗装 1戸 4 その他事項 平成21年度に教職員住宅整備事業（地域活性化・経済危機対策）でユニットバス化8戸、水洗トイレ化5戸整備等（14,682千円）	☆ 決算額の推移 決算額の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>3,087</td> <td>6650</td> <td>1,292</td> <td>10,529</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td></td> <td>3,563</td> <td>-5,358</td> <td>9,237</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			年度	H19	H20	H21	H22	H23	決算額	3,087	6650	1,292	10,529		対前年比		3,563	-5,358	9,237		103																									
年度	H19	H20		H21	H22	H23																																												
決算額	3,087	6650		1,292	10,529																																													
対前年比		3,563		-5,358	9,237																																													
項	1	教育総務費		☆ 指標で表せない効果等 1 住環境の向上を図り、教職員の厚真への定住化を図ります。			教員住宅環境改善事業 〔事業方向性〕 継続 〔予算方向性〕 継続																																											
目	1	教育委員会費		☆ 事業評価（自己評価） ☆ 点数による評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>要改善</th> <th>要検討</th> <th>妥当</th> <th>良好</th> <th>的確</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備等</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>運営面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>財政面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>目的達成度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>総体</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>					要改善	要検討	妥当	良好	的確	準備等	1	2	③	4	5	運営面	1	2	③	4	5	事業内容	1	2	③	4	5	財政面	1	2	③	4	5	目的達成度	1	2	③	4	5	総体	1	2	③	4	5	事業開始年度 平成17年度 事業終了（予定）年度
	要改善	要検討		妥当	良好	的確																																												
準備等	1	2		③	4	5																																												
運営面	1	2		③	4	5																																												
事業内容	1	2		③	4	5																																												
財政面	1	2		③	4	5																																												
目的達成度	1	2		③	4	5																																												
総体	1	2		③	4	5																																												
節		金額（千円）		☆ コメントによる評価 指標で表せない効果等と同様																																														
15	工事請負費	11,102		点検・評価にあたって特記する事項等 1 平成4年以前の建築住宅のユニットバス化等の環境整備を図ります。 2 老朽化住宅の屋根・壁の塗装等の計画的な維持管理を行います。																																														
計		11,102																																																
補助金等の有無		有・ <input checked="" type="radio"/>																																																
〔有の場合〕																																																		
名称																																																		
金額																																																		
〔事務・事業の写真等〕																																																		

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	
準備等	1	2	③	4	5	教員住宅を計画的に大規模な改修や修繕を施すことによって教職員が安心して居住できる、さらに定住にも繋がるといった環境改善事業を続けてもらいたい。自己評価のとおり妥当であると評価します。
運営面	1	2	③	4	5	
事業内容	1	2	③	4	5	
財政面	1	2	③	4	5	
目的達成度	1	2	③	4	5	
総体	1	2	③	4	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔事務・事業の概要〕		グループ名	学校教育グループ	事業番号																																													
款	10	教育費	1 目的及び効果 本町の教職員に今日的な教育課題を踏まえた研修の場を与えることにより、学習指導方法や学級経営等についての資質能力の向上を図り、楽しく分かる授業の展開など、日々の授業改善を通して、児童・生徒の学力向上に資するものです。	2 事業主体 厚真町教育委員会	3 事業内容及び対象者等 1 講演、講話、グループ討議、ワークショップ 2 授業名人による模範授業を受講 3 教育先進地域の先生による実践指導 講師 北海道教育大教授、ゼミナール講師、文科省教科調査官 教科用図書出版社、北海道特別支援センター所員 対象者 町内小中学校教員及び近隣市町教員（延べ参加人数237人）	4 全教員の参加が出来るよう長期休業中に実施。 研修企画は校長会、教頭会が中心となって企画しています。	☆ 決算額の推移 決算額の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>182</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>182</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	決算額	0	0	0	182		対前年比		0	0	182		104																										
年度	H19	H20						H21	H22	H23																																										
決算額	0	0						0	182																																											
対前年比		0						0	182																																											
項	1	教育総務費						☆ 指標で表せない効果等 長期休業中を利用した町独自の研修事業に全教員の参加を得たことは今後の指導力の向上に大いに繋がるものと思われます。	☆ 事業評価（自己評価） ☆ 点数による評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>要改善</th> <th>要検討</th> <th>妥当</th> <th>良好</th> <th>的確</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備等</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>運営面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>財政面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>目的達成度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>総体</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>		要改善	要検討	妥当	良好	的確	準備等	1	2	③	4	5	運営面	1	2	3	④	5	事業内容	1	2	3	④	5	財政面	1	2	③	4	5	目的達成度	1	2	3	④	5	総体	1	2	3	④	5	あつま教師力アップ事業
	要改善	要検討								妥当	良好	的確																																								
準備等	1	2								③	4	5																																								
運営面	1	2								3	④	5																																								
事業内容	1	2								3	④	5																																								
財政面	1	2								③	4	5																																								
目的達成度	1	2	3	④	5																																															
総体	1	2	3	④	5																																															
目	1	教育委員会費	☆ コメントによる評価 指標で表せない効果と同様です。	〔事業方向性〕 継続 〔予算方向性〕 継続																																																
節		金額（千円）			点検・評価にあたって特記する事項等 北海道の学力低下の傾向を食い止めるべく様々な方策を講じられてはいるものの一向に改善の成果が見られない中、長期休業中を利用したこのような研修を設けて全教員を受講させ、指導力を上げることで児童生徒の学力向上にも繋げるといった方策は他市町に先駆けての試みであり今後の成果に期待します。	事業開始年度 平成22年度 事業終了（予定）年度 平成24年度																																														
8 報償費		100																																																		
計		100																																																		
補助金等の有無		有・ 無																																																		
〔有の場合〕																																																				
名称																																																				
金額																																																				
〔事務・事業の写真等〕																																																				

研修を

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	
準備等	1	2	③	4	5	校長会、教頭会が中心となって教員の指導力の向上に繋がる企画そして運営することは自己評価のとおり評価します。講師を呼んでの研修も良いが、同じ学校の先生同士が互いに授業を公開すると云った研修など工夫をしてはどうか。
運営面	1	2	3	④	5	
事業内容	1	2	3	④	5	
財政面	1	2	③	4	5	
目的達成度	1	2	3	④	5	
総体	1	2	3	④	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔事務・事業の概要〕		グループ名	学校教育グループ	事業番号						
款	10	教育費	1 目的及び効果 退職教員による教育アドバイザーを設置して、児童生徒の生活実態を踏まえた学びの環境を整え、心豊かでたくましく学ぶ子供の育成を図りながら次の教育施策の体系化を進めます。	2 事業主体 厚真町教育委員会	3 事業内容及び対象者等 1 学びの質を高めるために教員の指導力をアップさせる 2 保育所、学童保育、小学校、中学校の学びを連携させる 3 放課後や長期休業中を利用した学びの展開 4 英語教育の推進と学校間の連絡調整	4 その他事項 文部科学省の研究開発校の指定を受けるべく関係機関等との調整や教師力アップ事業の研修企画などを行っています。	☆ 決算額の推移		105 事業 業務 名 名 教育 アド バイ ザー 設 置 事 業				
項	1	教育総務費					決算額の状況						
目	1	教育委員会費					年度	H19		H20	H21	H22	H23
節		金額(千円)					決算額	0		0	0	2,536	
3共済費		325					対前年比			0	0	2,536	
7賃金		2,239					☆ 指標で表せない効果等						
9旅費		20					教員経験の豊富な人材を活用して本町の教育施策を推進し、児童生徒や教員の教育力の向上に大きな力になるものと期待できます。						
計		2,584					☆ 事業評価(自己評価)						
補助金等の有無		有・ (無)					☆ 点数による評価						
〔有の場合〕								要改善		要検討	妥当	良好	的確
名称			準備等	1	2	③	4	5					
金額			運営面	1	2	3	④	5					
〔事務・事業の写真等〕			事業内容	1	2	3	④	5					
			財政面	1	2	③	4	5					
			目的達成度	1	2	3	④	5					
			総体	1	2	3	④	5					
			☆ コメントによる評価										
			指標で表せない効果と同様です。										
			〔事業方向性〕										
			継続										
			〔予算方向性〕										
			継続										
			点検・評価にあたって特記する事項等										
			本町の教育施策を推進するための教育エキスパートを配置したことにより教育現場と教育委員会の関係がスムーズに図られるようになった。また、学校ばかりでなく放課後や長期休業中を利用した学習指導を行うことで学力向上にも効果的であると判断します。さらに、小学校では平成23年度から外国語活動が取り入れられるため、英語教育の推進のために小学校間あるいは中学校への連携を図るといった学校間の調整を担っています。										
			事業開始年度 平成22年度										
			事業終了(予定)年度 平成24年度										

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	
準備等	1	2	③	4	5	本来、置くべき指導主事の代わりに教育経験者を配置して教育委員会と学校間の連携を図る、あるいは放課後や長期休業中に児童の勉強を指導するなど学びの環境を底上げする効果は自己評価のとおりとします。
運営面	1	2	3	④	5	
事業内容	1	2	3	④	5	
財政面	1	2	③	4	5	
目的達成度	1	2	3	④	5	
総体	1	2	3	④	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔事務・事業の概要〕		グループ名	学校教育グループ	事業番号																																													
款	10	教育費	1 目的及び効果 児童生徒の個に応じたきめ細やかな教育を推進するため、教室内で2人の教師が役割を分担しながらチーム・ティーチング（T・T）授業に取り組み、多様な指導形態や指導方法など工夫を凝らした授業を展開して、児童生徒の学び楽しさを育て、基礎学力の向上と定着を図ります。	2 事業主体 厚真町教育委員会	3 事業内容及び対象者等 1 小学校に臨時教員を配置してチーム・ティーチング授業を行う 2 厚真中央小学校を除く3校に2週間ごとの輪番で指導に入る 3 長期休業中には学童保育の場を借りた学習時間にも指導に入る	4 その他事項 学習ばかりではなく、学校行事などの学校運営にも参画します。	☆ 決算額の推移 決算額の状況 <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2,731</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2,731</td> <td></td> </tr> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	決算額	0	0	0	2,731		対前年比		0	0	2,731		106																										
年度	H19	H20						H21	H22	H23																																										
決算額	0	0						0	2,731																																											
対前年比		0						0	2,731																																											
項	1	教育総務費						☆ 指標で表せない効果等 臨時教員を活用したチーム・ティーチング授業を行うことで習熟度別に指導することが出来、基礎的・基本的な学力の定着が図られるので学力の底上げが期待されます。	☆ 事業評価（自己評価） ☆ 点数による評価 <table border="1"> <tr> <th></th> <th>要改善</th> <th>要検討</th> <th>妥当</th> <th>良好</th> <th>的確</th> </tr> <tr> <td>準備等</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>運営面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>財政面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>目的達成度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>総体</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> </table>		要改善	要検討	妥当	良好	的確	準備等	1	2	③	4	5	運営面	1	2	3	④	5	事業内容	1	2	3	④	5	財政面	1	2	③	4	5	目的達成度	1	2	3	④	5	総体	1	2	3	④	5	厚真町教育サポート事業
	要改善	要検討								妥当	良好	的確																																								
準備等	1	2								③	4	5																																								
運営面	1	2								3	④	5																																								
事業内容	1	2								3	④	5																																								
財政面	1	2								③	4	5																																								
目的達成度	1	2	3	④	5																																															
総体	1	2	3	④	5																																															
目	1	教育委員会費	☆ コメントによる評価 指標で表せない効果と同様です。	〔事業方向性〕 継続 〔予算方向性〕 継続																																																
節		金額（千円）			点検・評価にあたって特記する事項等 基礎的、基本的な学力の定着を図るためにT・T授業を取り入れることは児童にとって効果的な指導と言えます。教員同士の工夫された授業を行うことにより、児童が学ぶ楽しさや、良く理解出来る学習を展開するものと考えます。また、授業以外の行事や放課後学習などにも関わりを持つことで児童との信頼も築かれると判断します。	事業開始年度 平成22年度 事業終了（予定）年度 平成23年度																																														
3 共済費		325																																																		
7 賃金		2,239																																																		
9 旅費		168																																																		
計		2,732																																																		
補助金等の有無		有・無																																																		
〔有の場合〕																																																				
名称																																																				
金額																																																				
〔事務・事業の写真等〕																																																				

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	
準備等	1	2	③	4	5	T・T授業を取り入れることによって基礎学力の定着を図る事は効果のある指導として自己評価のとおりとします。2年間の事業とあるが、このような効果のある事業は今後も継続されるよう望みます。
運営面	1	2	3	④	5	
事業内容	1	2	3	④	5	
財政面	1	2	③	4	5	
目的達成度	1	2	3	④	5	
総体	1	2	3	④	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況		〔 事務・事業の概要 〕		グループ名	学校教育グループ	事業番号																																												
款	10	教育費	1 目的及び効果 遠隔地に居住する児童生徒を対象として、通学の負担軽減を図るため、本教育委員会が所有するスクールバス（4台・4路線）及び民間バス会社に委託（3路線）し運行しています。	☆ 決算額の推移 決算額の状況 年度 H19 H20 H21 H22 H23 決算額 31,778 34,357 34,210 34,023 対前年比 $\frac{\quad}{\quad}$ 2,579 -147 -187		107																																												
項	2・3	教育費		2 事業主体 厚真町教育委員会	☆ 指標で表せない効果等 町域が広い本町においては、登下校のスクールバスの運行は不可欠なものであるが、学校行事をはじめ、保育園児、高齢者等の福祉事業にも利用され、広範囲にわたり有効に活用されています。		事業 業務 名 目 ス ク ー ル バ ス 運 行 管 理 事 業																																											
目	1・1	学校管理費			3 事業内容及び対象者等 (1) 対象者 遠隔通学児童生徒 ①小学生 93人 中学生88人 計181人 (2) 路線数 直営4路線（うち2路線は臨時運転手対応） 民間委託3路線（委託料 24,948千円） (3) 登下校以外の運行状況 ①学校が行う社会学習等校外学習及び特別活動 268件295台 ②役場（保育園等）、教育委員会（社会教育）の事業 42件65台 ③厚真高校生徒保育所訪問等 3件8台	☆ 事業評価（自己評価） ☆ 点数による評価																																												
節		金額（千円）				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>要改善</th> <th>要検討</th> <th>妥当</th> <th>良好</th> <th>的確</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備等</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>運営面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>財政面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>目的達成度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>総体</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			要改善	要検討	妥当	良好	的確	準備等	1	2	③	4	5	運営面	1	2	③	4	5	事業内容	1	2	③	4	5	財政面	1	2	③	4	5	目的達成度	1	2	③	4	5	総体	1	2	③	4	5	
	要改善	要検討				妥当		良好	的確																																									
準備等	1	2				③		4	5																																									
運営面	1	2				③		4	5																																									
事業内容	1	2				③		4	5																																									
財政面	1	2				③		4	5																																									
目的達成度	1	2				③		4	5																																									
総体	1	2	③			4		5																																										
4	共済費	612	4 その他事項 (1) 需用費の主な経費 ①燃料費 1,966千円 ②車検整備等の修繕料 1,261千円 (2) 運行時間（最長・片道） ①美里・豊沢線 35分 ②鹿沼・軽舞線 28分 ③共栄・共和線 34分 ④浜厚真・厚和線39分 ⑤幌内・桜丘線 34分 ⑥高丘・宇隆線 43分 ⑦幌里・本郷線 26分	☆ コメントによる評価 指標で表せない効果等と同等																																														
7	賃金	4,362		〔 有 の 場 合 〕																																														
11	需用費	3,806		名称																																														
12	役務費	440		金額																																														
13	委託料	25,028		〔 事務・事業の写真等 〕																																														
27	公課費	120		点検・評価にあたって特記する事項等																																														
計		34,368		1 軽舞小・富野小閉校で懸念されていた運行時間の延長（片道1時間）は、路線の工夫により最長46分に収めています。 2 技術職員の定年退職に伴い、新規職員を補充せず臨時運転手により対応し、人件費の抑制に努めています。 3 車両の老朽化に伴い、車両の更新と臨時運転手で対応するか、民間への委託で対応するかの検討が求められています。放課後プランの送迎にもスクールバスを利用できないのか検討をしているところです。																																														
補助金等の有無	有	無		〔 有 の 場 合 〕																																														
補助金等の有無		有		〔 有 の 場 合 〕																																														
名称				〔 有 の 場 合 〕																																														
金額			〔 有 の 場 合 〕																																															
〔 事務・事業の写真等 〕			〔 有 の 場 合 〕																																															
点検・評価にあたって特記する事項等			点検・評価にあたって特記する事項等																																															
1 軽舞小・富野小閉校で懸念されていた運行時間の延長（片道1時間）は、路線の工夫により最長46分に収めています。			点検・評価にあたって特記する事項等																																															
2 技術職員の定年退職に伴い、新規職員を補充せず臨時運転手により対応し、人件費の抑制に努めています。			点検・評価にあたって特記する事項等																																															
3 車両の老朽化に伴い、車両の更新と臨時運転手で対応するか、民間への委託で対応するかの検討が求められています。放課後プランの送迎にもスクールバスを利用できないのか検討をしているところです。			点検・評価にあたって特記する事項等																																															
要改善			点検・評価にあたって特記する事項等																																															
要検討			点検・評価にあたって特記する事項等																																															
妥当			点検・評価にあたって特記する事項等																																															
良好			点検・評価にあたって特記する事項等																																															
的確			点検・評価にあたって特記する事項等																																															
準備等			点検・評価にあたって特記する事項等																																															
運営面			点検・評価にあたって特記する事項等																																															
事業内容			点検・評価にあたって特記する事項等																																															
財政面			点検・評価にあたって特記する事項等																																															
目的達成度			点検・評価にあたって特記する事項等																																															
総体			点検・評価にあたって特記する事項等																																															
事業開始年度			昭和																																															
事業終了（予定）年度			事業終了（予定）年度																																															

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	
準備等	1	2	③	4	5	児童生徒の負担にならないような運行経路を毎年度工夫を凝らして決定していただきたい。評価は自己評価のとおり妥当とします。今後は、放課後プランの送迎にも活用できるようにしていただきたい。
運営面	1	2	③	4	5	
事業内容	1	2	③	4	5	
財政面	1	2	③	4	5	
目的達成度	1	2	③	4	5	
総体	1	2	③	4	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔事務・事業の概要〕		グループ名	学校教育グループ	事業番号																																												
款	10	教育費	① 目的及び効果 通常の学級に在籍する発達障害など、特別な教育的支援を要する児童生徒を対象に特別支援教育支援員を配置することにより、学習活動や移動介助等への支援を行い、児童生徒のよりよい学校生活の実現に資するものです。	② 事業主体 厚真町教育委員会	③ 事業内容及び対象者等 LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥/多動性障害）、及び高機能自閉症など特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍する学級に支援員を配置し、介助や学習活動上のサポートを行うとともに、学級運営の円滑化を図る。 配置校 中央小学校、上厚真小学校、厚真中学校、厚南中学校 対象者数 5人 支援員数 4人	④ その他事項 特別支援教育支援員配置事業実施要項（H19.4.1施行） 対象児童生徒の判定は、厚真町就学指導委員会で審議する。	☆ 決算額の推移 決算額の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>1,717</td> <td>3,385</td> <td>5,560</td> <td>6,867</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td>1,717</td> <td>1,668</td> <td>2,175</td> <td>1,307</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	決算額	1,717	3,385	5,560	6,867		対前年比	1,717	1,668	2,175	1,307		108																									
年度	H19	H20						H21	H22	H23																																									
決算額	1,717	3,385						5,560	6,867																																										
対前年比	1,717	1,668						2,175	1,307																																										
項	2・3	小学校費・中学校費						☆ 事業評価（自己評価） ☆ 点数による評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>要改善</th> <th>要検討</th> <th>妥当</th> <th>良好</th> <th>的確</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備等</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>運営面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>財政面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>目的達成度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>総体</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>		要改善	要検討	妥当	良好	的確	準備等	1	2	③	4	5	運営面	1	2	3	④	5	事業内容	1	2	③	4	5	財政面	1	2	③	4	5	目的達成度	1	2	③	4	5	総体	1	2	③	4	5	特別支援教育支援員配置事業
	要改善	要検討							妥当	良好	的確																																								
準備等	1	2							③	4	5																																								
運営面	1	2							3	④	5																																								
事業内容	1	2							③	4	5																																								
財政面	1	2							③	4	5																																								
目的達成度	1	2	③	4	5																																														
総体	1	2	③	4	5																																														
目	2	教育振興費																																																	
節		金額（千円）																																																	
4共済費		660																																																	
7賃金		5,327																																																	
計		5,987																																																	
補助金等の有無		有・無																																																	
〔有の場合〕																																																			
名称																																																			
金額																																																			
〔事務・事業の写真等〕																																																			
点検・評価にあたって特記する事項等 平成18年6月に学校教育法等の改正が行われ、平成19年4月から、障害のある児童生徒等の教育の充実を図るため、小・中学校等に在籍する教育上特別の支援を必要とする児童生徒等に対して、適切な教育（特別支援教育）を行うことが明確に位置付けられました。本町においては、前回（平成20年度）の事業評価時と比較し、対象者数が3人、支援員も2人増員し、支援を必要とする児童生徒が増加傾向にありますので、今後、支援員を確保することが難しいです。					☆ 指標で表せない効果等	☆ コメントによる評価 支援員を配置することは、特別な教育支援を必要とする児童生徒の教育的ニーズに応えるとともに、学級運営の円滑化に繋がることから、継続して事業を行う必要があります。	〔事業方向性〕 継続																																												
〔予算方向性〕 継続																																																			
事業開始年度 平成19年度																																																			
事業終了（予定）年度																																																			

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	
準備等	1	2	③	4	5	支援を必要とする児童生徒は増える状況にありますが、適切な教育が受けられるよう十分配慮していただきたい。自己評価のとおりと判断します。
運営面	1	2	3	④	5	
事業内容	1	2	③	4	5	
財政面	1	2	③	4	5	
目的達成度	1	2	③	4	5	
総体	1	2	③	4	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔 事務・事業の概要 〕		グループ名	学校教育グループ	事業番号																																												
款	10	教育費	1 目的及び効果 小中学校のコンピュータ教室の機器整備等を行い、児童生徒の情報活用能力を育成し、情報化による学習活動の向上を図ることを目的とします。 2 事業主体 厚真町教育委員会 3 事業内容及び対象者等 ○平成19年度（5年リース・PC35台） 厚真中央小学校のコンピュータ室31台（児童用30台、先生用1台）教員用4台 ○平成20年度（5年リース・PC21台） 上厚真小学校4台（教員用）、富野小学校5台（PC室1台、教員用4台、軽舞小学校4台（教員用）、厚真中学校4台（教員用）、厚南中学校4台（教員用） ○平成21年度（備荒資金・PC37台） 中央小学校9台（教員用）、富野小学校2台（教員用）、上厚真小学校8台（教員用）、軽舞小学校3台（教員用）、厚真中学校7台（教員用）、厚南中学校8台（教員用） 4 その他事項	☆ 決算額の推移 決算額の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>1,554</td> <td>4,413</td> <td>6,054</td> <td>7,697</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td></td> <td>2,859</td> <td>1,641</td> <td>1,643</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					年度	H19	H20	H21	H22	H23	決算額	1,554	4,413	6,054	7,697		対前年比		2,859	1,641	1,643		109																								
年度	H19	H20		H21	H22	H23																																													
決算額	1,554	4,413		6,054	7,697																																														
対前年比		2,859		1,641	1,643																																														
項	2・3	小学校費・中学校費		☆ 指標で表せない効果等 ①コンピュータ教室における児童生徒1人1台のパソコンの配置を目指しています。 ②教員1人1台のパソコンは配置しました。					事業番号 事業名 コンピュータ機器整備事業																																										
目	2	教育振興費		☆ 事業評価（自己評価） ☆ 点数による評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>要改善</th> <th>要検討</th> <th>妥当</th> <th>良好</th> <th>的確</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備等</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>運営面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>財政面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>目的達成度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>総体</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>							要改善	要検討	妥当	良好	的確	準備等	1	2	③	4	5	運営面	1	2	③	4	5	事業内容	1	2	③	4	5	財政面	1	2	③	4	5	目的達成度	1	2	③	4	5	総体	1	2	③	4	5
	要改善	要検討		妥当	良好	的確																																													
準備等	1	2		③	4	5																																													
運営面	1	2		③	4	5																																													
事業内容	1	2		③	4	5																																													
財政面	1	2	③	4	5																																														
目的達成度	1	2	③	4	5																																														
総体	1	2	③	4	5																																														
節		金額（千円）	☆ コメントによる評価 小中学校のコンピュータ教室の機器整備により、コンピュータ授業の充実が図られ、児童生徒の情報活用能力の育成及び情報化による学習活動を行う環境が整いました。また、校務用のコンピュータも整備され、教職員の情報の共有化や事務の効率化が図られました。																																																
12	役務費	316	〔 有 の 場 合 〕																																																
14	使用料及び賃借料	5,868	名称																																																
17	公有財産購入費	1,530	金額																																																
計		7,714	〔 事務・事業の写真等 〕																																																
補助金等の有無	有	●	点検・評価にあたって特記する事項等																																																
〔 有 の 場 合 〕			コンピュータ機器整備事業は、ICTを活用した授業改善の手段として大変有効です。現在、児童生徒、教員の使用状況に応じた機器が整備されていますが、今後の機器の更新時においても実態に即した機器や教育ソフトの導入を検討する必要があります。また、授業での活用等の状況については、①小学校では、主に総合的な学習時間の中でインターネットを利用し教科の資料作成に、②中学校では、技術の教科等（情報とコンピュータ）で情報の収集など学習活動に有効に利用されています。																																																
名称			〔事業方向性〕																																																
金額			〔予算方向性〕																																																
〔 事務・事業の写真等 〕			事業開始年度 平成19年度 事業終了（予定）年度																																																

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	児童・生徒及び教職員にパソコンを配備することによって情報教育の環境整備や校務の合理化を推し進めていますので、自己評価のとおり妥当と評価します。今後、機器の更新には計画的に対応していただきたい。
準備等	1	2	③	4	5	
運営面	1	2	③	4	5	
事業内容	1	2	③	4	5	
財政面	1	2	③	4	5	
目的達成度	1	2	③	4	5	
総体	1	2	③	4	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔事務・事業の概要〕		グループ名	学校教育グループ	事業番号																																												
款	10	教育費	1 目的及び効果 学校給食は、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のために、地元食材の活用やバランスのとれた栄養豊かな食事を提供するとともに学校給食が「生きた教材」となり、子どもの望ましい食生活の形成や食に関する理解を促進し、厚真町の子ども豊かな心と健康を育むことを目的としています。	2 事業主体 厚真町学校給食センター	3 事業内容及び対象者等 (1) 給食センターの管理運営 ①給食の日数 190日 ・給食の形態 週/米飯3日、パン1日、麺1日 ②給食人数 児童生徒、教員等で419人（うちアレルギー等対象者4名） (2) 学校給食センター運営委員会の開催（平成22年5月27日） ①平成21年度給食センターの運営状況及び平成22年度運営計画 ②平成22年度学校給食に関する年間基本計画について (3) 食に関する指導の取組み ①子どもたちに、望ましい食習慣を身につけるため給食時間を中心に教科、特別活動等における教育指導（給食指導 67回、教科等における指導 27時間） ②児童生徒への個別的な相談指導 アレルギー等の児童生徒が抱える個々の問題に適切に対応（対象児童数4名） ③学校給食を通して学校と家庭との連携 「献立表」を作成し、日々の学校給食の内容を児童生徒、保護者に知らせ、学校との連携に努めています。保護者との「食の座談会」等の実施 (4) 学校給食の管理 ①栄養管理及び調理指導や衛生管理及び物資管理の徹底 ②給食に関する実態調査の実施 (5) 地域の特色を生かした学校給食の実施 ①地元生産者との結びつきを一層深めた「地産地消」の推進を図り、新鮮で安全・安心かつ良品質の地元食材を優先した給食の提供 ②「厚真の日」の設定 7月から11月までの間、月に一度、牛乳・調味料以外すべて厚真の旬の食材を提供（年5回） ③特別献立～卒業バイキング給食、給食週間での特別メニュー等の提供	☆ 決算額の推移 決算額の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>52,527</td> <td>50,512</td> <td>50,048</td> <td>50,459</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td></td> <td>-2,015</td> <td>-464</td> <td>411</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	決算額	52,527	50,512	50,048	50,459		対前年比		-2,015	-464	411		110																										
年度	H19	H20					H21	H22	H23																																										
決算額	52,527	50,512					50,048	50,459																																											
対前年比		-2,015					-464	411																																											
項	5	保健体育費					☆ 指標で表せない効果等 調理作業全般の衛生管理の徹底と調理指導、児童生徒への給食指導と食育授業を通して、安全でおいしい給食づくりとより良い食生活を支えられるよう、連携した取組みが図られています。	☆ 事業評価（自己評価） ☆ 点数による評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>要改善</th> <th>要検討</th> <th>妥当</th> <th>良好</th> <th>的確</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備等</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>運営面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>財政面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>目的達成度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>総体</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>		要改善	要検討	妥当	良好	的確	準備等	1	2	③	4	5	運営面	1	2	3	④	5	事業内容	1	2	3	④	5	財政面	1	2	③	4	5	目的達成度	1	2	3	④	5	総体	1	2	3	④	5	学校給食センター管理運営事業
	要改善	要検討							妥当	良好	的確																																								
準備等	1	2							③	4	5																																								
運営面	1	2							3	④	5																																								
事業内容	1	2							3	④	5																																								
財政面	1	2							③	4	5																																								
目的達成度	1	2	3	④	5																																														
総体	1	2	3	④	5																																														
目	3	学校給食センター費	☆ コメントによる評価 平成22年1月から給食費が改定され、より厳選された食材の購入、献立の充実、栄養価の充足など質の高い給食を提供しています。	〔事業方向性〕 継続 〔予算方向性〕 継続																																															
節		金額（千円）			点検・評価にあたって特記する事項等 本町の給食センターは、北海道初のHACCP概念による衛生管理方式を取り入れたオール電化厨房システムを導入していること、また、開設当初から食物アレルギー対応食を提供していることから全国的に注目を浴び、自治体、報道機関等の取材・視察が大変多くなっています。	事業開始年度 平成12年度 事業終了（予定）年度																																													
4 共済費		2,286																																																	
7 賃金		15,609																																																	
11 需用費		29,247																																																	
12 役員費		618																																																	
13 委託料		2,276																																																	
14 使用料及び賃借料		111																																																	
18 備品購入費		16																																																	
計		50,163																																																	
補助金等の有無		有・無																																																	
〔有の場合〕																																																			
名称		学校給食賄材料納付金																																																	
金額		20,807																																																	
〔事務・事業の写真等〕																																																			

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	食の大切さが認識されている今日、学校給食の果たす役割はますます大きく、子供たちの心身の発育に大変貢献していると言えます。また、食材の地産地消の活用やアレルギー対応食、行事食など厚真町独自の給食を提供するといった創意工夫も評価すべきもので、今後とも守っていただきたい。
準備等	1	2	③	4	5	
運営面	1	2	3	④	5	
事業内容	1	2	3	④	5	
財政面	1	2	③	4	5	
目的達成度	1	2	3	④	5	
総体	1	2	3	④	5	